

令和 3 年浦安市教育委員会第 4 回定例会会議録

浦安市教育委員会

令和3年浦安市教育委員会第4回定例会

- I. 日 時 令和3年4月8日(木)  
開 会 午後3時00分  
閉 会 午後3時30分
- I. 場 所 市役所4階 災害対策本部室
- I. 進 行 教 育 長 鈴木 忠 吉
- I. 出席委員 教育長職務代理者 宮 道 力  
委 員 宮 澤 ミシェル  
委 員 吉 野 則 子  
委 員 影 山 純 二
- I. 出席説明者 教 育 総 務 部 長 醍 醐 恵 二  
教 育 総 務 部 次 長 高 柳 幸 志  
教 育 総 務 部 次 長 丸 山 恵美子  
教育総務部副参事(教育総務課長) 槇 伸 一  
指 導 課 長 長 野 栄 一  
保 健 体 育 安 全 課 長 溝 上 澄 人  
生 涯 学 習 部 長 金 子 吉 直  
生 涯 学 習 部 次 長 森 田 和 徳  
生 涯 学 習 課 長 土 久 菜 穂  
市 民 ス ポ ー ツ 課 長 奥 山 由紀夫
- I. 傍 聴 人 2名
- I. 案 件  
第1. 会議録の承認

## 第2．教育長からの一般報告

## 第3．審議事項

議案第1号 公文書部分開示決定に係る審査請求に対する裁決について

## 第4．協議事項

## 第5．報告事項

1. 教育委員会共催・後援行事一覧
2. 令和3年度浦安市教育委員会学校訪問実施要項
3. 令和3年度幼稚園・認定こども園計画訪問実施要項
4. 令和2年度教育相談実施報告について
5. 令和2年度学年末及び令和3年度学年始め休業中における事故等について
6. 令和3年度産業医及び健康管理医の配置について
7. 令和3年度学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置について
8. 令和2年度浦安市成人式開催結果
9. 令和3年度市民大会実施競技開催案内
10. 令和2年度市民大会実施競技開催報告

## 第6．教育委員からの一般報告

## 第7．その他

## 開 会 (午後 3 時00分)

鈴木教育長 これより令和3年浦安市教育委員会第4回定例会を始める。  
それでは、議事に入る。議事の第1. 会議録の承認であるが、本日の上程はない。

次に、議事の第2. 教育長からの一般報告に移る。

新型コロナウイルスが中国・武漢から発生して以来、1年3か月余りが経過し、現在では新たな変異株が世界各地、そして日本にも感染が拡大しつつある。ワクチン接種も順調に進まず、今なお収束が見えない中、令和3年度が始まった。年度当初の教育委員定例会に当たり、御挨拶申し上げます。

私も4月1日に2期目の教育長職の辞令を市長より交付いただいた。先ほど、事前打ち合わせの中で、教育総務部、生涯学習部の両部長から事務局の管理職の紹介をしたが、今回は両部次長も、大幅な人事異動となった。新たな体制で教育行政を推進していくので、1年間よろしくお願ひしたい。

今回、年度初めということで、児童・生徒数や教職員数のデータ及び始業式、入学式、新任式等について報告する。

始めに、昨日4月7日現在の小学校の児童数が8,610名で、昨年より207名の減、中学校の生徒数が3,787名で、21名の減、児童・生徒数の合計が12,397名で、231名減となっている。

また、学級数は、小学校が308クラスで、昨年よりマイナス3、中学校が123クラスで、プラス2となっているが、これは子どもが1人増えるだけで、学級が増える場合もあるためである。

また、県費負担教職員数は、小学校が448名、中学校が245名の合計693名となっている。

管理職の異動については、定年退職の校長が9名で、勸奨退職の教頭が1名となった。新任の校長は9名、新任の教頭は10名である。

この他に、県費の講師は67名配置した。これは昨年度よりも16名増えているが、現在、国でも問題になっている未配置の数が、本市では3名となっている。全国的に講師が不足している中でも、浦安市は何とか配置できていると思っている。

続いて、4月7日に行われた始業式についてである。大規模な学校では、体育館に一堂に集めないで、オンラインで開催したところもあった。本日8日に小学校の入学式が行われ、どの学校も保護者の出席は2名までとし、来賓の出席や在校生の参加もなしということで、短時間での実施となった。

9日には中学校の入学式があるが、小学校と同様の条件で行う予定である。13日に予定している幼稚園・認定こども園の入園式も同様に実施する。

12日からは、小学校2年生以上の給食が開始され、翌週の19日から、小学校1年生の給食も始まる。

続いて、4月2日に実施した新任式であるが、今年度は感染症対策のために、時間制限や人数制限を行った。例年は、新任の管理職、他市からの転入職員、新規採用職員を一堂に集めて、教育委員会事務局との顔合わせのほか、教育政策課から本市の特徴や教育行政についての研修会を行っていたが、今回、管理職については、校長会議、教頭会議の中で紹介できるため、転入職員と新規採用職員のみで構成で実施した。

転入教職員は、小学校で14名、中学校で10名の計24名となり、新規採用教職員は、小学校14名、中学校4名の合計18名となった。これも、今年度は全員呼名のみで、物足りなさはあったが、マスク越しに表情は明るいものであったと思っている。

新規採用者18名中、浦安市で生まれた、あるいは浦安市で育った出身者が半数以上もいた。一頃は数名程度だった浦安出身者が、こんなにも増えてきたことについて、何よりも嬉しく思っている。

また、転入職員については、経験の浅いうちに、管内5市の教育を経験することで、出身地での教育を充実させる、または自らの指導力の向上を図ることを目的として、管内交流人事を実施している。市外に出る

ことによって、地元の市を客観的に見たり、改めてその良さを知ったりと、幅広い視野につながる経験を積むことになる。

新任式は、新規採用者もそのことを知るきっかけとなるので、意味があるものと思って実施している。今年是一人ひとりの抱負を語ったり、どこの出身だったりなどの情報を聞くことがなかったが、各学校での活躍を期待しているところである。

今後の感染症対策については、変異株の心配はあるが、これまでの1年間の経験があるので、できる限り、市民の生涯学習活動や子ども達の学びを止めない方向で実施していきたいと考えている。また、その時々状況に応じて、しなやかに対応していきたいと思っている。

臨時の教育委員会議を実施することが、今後あるかもしれないが、教育委員の皆様には、よろしく願いしたい。また、緊急を要する場合には、電話あるいはメール等で予め御相談させていただくが、教育長の専決で行うことも御承知おきいただきたい。

以上で、教育長からの一般報告とさせていただきます。

次に、議事に入る前に、あらかじめお諮りする。

議事の第3. 審議事項、議案第1号については、浦安市教育委員会会議規則第20条ただし書の規定により、非公開として取り扱うことよろしいか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木教育長　それでは、議事の第3. 審議事項、議案第1号につきましては、議事の第7. その他の後、非公開で審議することとする。

次に、議事の第4. 協議事項に移るが、本日の上程はない。

次に、議事の第5. 報告事項に移る。

報告事項については、今回の定例会でお配りした資料をもって報告とさせていただきます。

それでは、議事の第5. 報告事項10件に対する質問を受け付ける。

委員 学校訪問実施要項の資料を出していただいたということで、令和3年度は学校訪問を実施するという事によろしいか。

長野指導課長 予定どおり実施する予定である。ただ、今までのように、多くの人数で教室を訪れるのは避けて、数名ずつで回るといふ形で訪問を行いたいと思っている。

鈴木教育長 本市は他市と比べると、学校訪問の際の人数が多い。教育委員の出席も含めて、事務局も浦安市は非常に活発で、一生懸命やっていたところであるが、一同で動いていくには人数が多過ぎるので、今回は少人数に分かれて、くまなく見ていただけるような形を取りたいと思っている。

私からの質問であるが、令和2年度教育相談実施報告について、この1年間のコロナ禍で何か特徴的なことはあったのか。

長野指導課長 昨年度は、コロナ禍で4月、5月が休校となったが、相談件数としては、一昨年度と昨年度の件数に大きな変化はなかった。4月、5月分がなくなったとしても件数が変わっていないということは、相談件数としては少し増えている状況である。

鈴木教育長 件数自体に大きな変化はないということである。内容的なこと何かあるか。

丸山教育総務部次長 報告によると、保護者からの相談が多くなっているということである。子どもが家にいる時間が長かったことから、保護者にもストレスがかかり、スクールライフカウンセラーへの相談が多かったということが報告されている。

鈴木教育長 指導課長は、昨年度は学校現場にいたのだから、その辺りはどうか。保護者や子どもからのコロナに対する不安などは聞いていたか。

長野指導課長 コロナで不安であるという保護者からの問合せは非常に多かった。児童がコロナに感染したという事例もあったので、保護者の方は大変心配されていた。

鈴木教育長 他に質問はあるか。よろしいか。

それでは、議事の第6．教育委員からの一般報告を今回から議題として設定した。臨時会を開催してから間もないが、委員の皆様からの報告等をお願いしたい。

委員 自分が大学で教えていることもあって、最近、教育格差というものを感じることもある。自分の娘が中学校に進学する時に、私立中学校を選んだ理由が、格差というものを感じるきっかけになった。

自分の娘はバイリンガルで育っているので、英語で勉強する機会が公立学校だとどうしても限られてしまう。それで、本人の希望で私立学校へ進学した。

自分自身が大学で幸福度について研究し、格差を是正したいという気持ちでやっている中で、自分の娘が、ある意味格差を広げる方向に動いてしまったというのは、非常に不本意であった。

それでは、格差をなくすためにはどうしたらいいのか。その一つとして、教育の底上げというものがあると思う。したがって、教育環境に恵まれていない、何らかの問題を抱えている児童・生徒をどうやってフォローしていくかが非常に重要なことだと思う。教育委員になってから半年間、いろいろ見させていただいて、その点で浦安市というのは、ある意味素晴らしい仕事をしているとも感じている。

格差をなくすもう一つ方法として、私立学校に行かなくても、浦安市の公立学校に行けば十分、あるいは塾に行かなくてもいいという、それくらいの教育が提供できるような学校作りができれば一番良いと思っている。当然、その中で、私立と公立の格差というものが、公立同士の格差というものになるかもしれないが、格差自体は小さくなると思うので、



そのような仕組みが作れば良いと思っている。私が言っていること自体、これが全て正しいかどうかはまた別問題であるけれども、このようなことを皆様と議論しながら、より一歩でも浦安市の魅力が、浦安市の子ども達の幸せにつながるような形になってもらえればと思っている。

鈴木教育長     ありがとうございます。教育だけではなく、格差社会、あるいは分断社会と言われる大きな課題である。全ての授業が平等になっているかどうかや平等そのものをどう捉えていけばいいのか、年間を通じて、このようなテーマで話し合っていけたら良いと思う。そういう意味では、スポーツの世界も同じであると思うが、いかがか。

委員            指導者によってスポーツはいろいろ変わるので、一概に環境だけとは言えない。環境の良いところから、いい選手が出てきやすいが、そうでないところからも、熱心な指導者によっては出てくるという可能性はある。

話は変わるが、以前、タブレット教育の話をしていたら、ある企業の人が、タブレットではなく、パソコンを使えない人が多いから、それがどうにかならないかという話があった。社会に出たら、タブレットだけではなく、パソコンも使える必要があるものだと感じたところである。

委員            今一番感じていることは、児童・生徒が無事に入学式を迎えることができ良かったと思っている。今年は休校せずに行ければと思っている。

それから、NHKの番組で、自主休校している子どもの話をしていたが、もし浦安市でそのようなお子さんがいるのであれば、ぜひフォローしていただきたいと思う。

鈴木教育長     保健体育安全課から、欠席状況の報告が毎日出ているが、昨年度、多い時で200人程休んでいる日もあった。児童・生徒数は、約1万2,500人いるので、パーセンテージにすると、それほどでもないが、最後の終業式の日欠席が16人であるから、自主休校というよりも、家族に少し

具合が悪い人がいる場合などは、積極的にお休みしていたところがあった。大事なことは、長く休んでしまう場合に、勉強の面で、タブレット端末を使って、子ども達の学習の遅れ、あるいは学びを止めないということが、今後の課題である。そういうことを全ての学校で、最低限やっていけるようにしたいと思っている。

また、今年の今頃を思えば、今年は、予定どおり始業式、入学式ができていたので、そういう意味で良かったと思っている。

委員 先ず、入学式、始業式ができて本当に良かったと思っている。今まで、できる範囲で大人が知恵を結集しながら、やっていただいているところであるが、引き続き、現場の先生方の知恵を生かし、その時々々の感染状況を見ながら、学びを止めないということを念頭に置いて、ぜひ進めてもらえると良いと思う。

また、格差については、厳しいところをどうサポートしていくかという視点は、やはり公教育という部分で、頭に入れておかなければならないと思っている。

鈴木教育長 本日、教育格差についてご指摘いただいたので、今年1年間、それを視野に入れて協議していけたらいいと思っている。

今年度から、議事の報告事項は、できるだけ資料を事前にお配りし、当日の説明なしで、こういった議論の時間を取りたいと思っている。

委員 多摩市が父親支援プロジェクトのモデル市となっており、そこで講師として依頼を受けた。父親が母親と同じように子育てをする上で、様々な病気を発症する場合があるが、それに対して、どのように乗り越えてきたかというテーマで講演した。

自分も現役時代、調子が悪くなったことをすぐに監督やコーチに見抜かれた。体重も落ちて、これは何なのか自分も気付かなかったが、自分の責任感だけで一生懸命子育てをすることがいいことだと思っていたら、知らないうちに自分が病気になっていたということを話した。当日

は、夫婦で来ている方が多くいて、こんなにも需要があるのかと驚いたところである。

アンケートでは、「自分の子どもの個性をどう見つけたらいいのか」「子どもと接する中で、これだけは気を付けておきたいことは何か」など、多くの質問が出てきた。もしかしたら我々は、今までそのような気持ちにはならなかったけども、今の時代、何か教えることや経験談を伝えるような機会が求められているのではないかと感じた。

実際に、生後1歳未満の子どもを育てる夫婦で、中程度以上の精神的不調、苦痛のリスクがあると判定された割合が、夫婦どちらかで15.1%、夫だけで11%程度という数字が出ているようである。子育てが、最初に関わる教育という観点から、親が悩みを本当に抱えていることを紹介させていただいた。

鈴木教育長 今、就学前の子育ての問題について、核家族が多く、相談できるところが少ない。インターネットなどで情報を得ることはできるが、誤った情報に流されてしまうこともある。また、知っている人は知っているけれど、知らない人は全然知らないという情報格差の問題もある。

したがって、インターネットだけではなくて、きちんと実体験した人の話を聞くような講演会など、社会教育や家庭教育、青少年教育の分野も含めて実施したいと思っている。特に、今みたいに委員の皆様から御意見をいただき、事務局とキャッチボールができるといいと思っているので、よろしく願いしたい。

それでは、議事の第7、その他に入るが、本日はその他の事項の上程はない。

それでは、これより教育委員会会議規則第20条ただし書の規定により非公開と決定した案件について審議を行う。案件は、議事の第3、審議事項、議案第1号である。

なお、浦安市教育委員会会議規則第22条の規定により、指導課長、保健体育安全課長、生涯学習課長は退室をお願いする。

また、傍聴人も退室をお願いする。

## 非公開会議

鈴木教育長　それでは、議案第1号 公文書部分開示決定に係る審査請求に対す  
裁決についてを議題する。事務局の説明を求める。

議案第1号 公文書部分開示決定に係る審査請求に対する裁決について、金子生涯学習  
部長より説明がなされた。

鈴木教育長　ただいま説明がなされた議案第1号について質疑を行う。よろしいか。  
それでは、議案第1号について、事務局の説明のとおり、これを承認  
することとしてよろしいか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木教育長　異議がないので、議案第1号 公文書部分開示決定に係る審査請求に  
対する裁決については承認された。

以上で、令和3年浦安市教育委員会第4回定例会を閉会する。

閉　　会　(午後3時30分)